

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。観察会のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回6月の「てがたん」は6月11日(土)で「チョウの食草」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは6月4日(土)です。よろしくお願いいたします。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→香取神社→水生植物園(フジ棚)→手賀沼遊歩道
- 観察日時/天気 2011年5月14日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 市民スタッフ 13名(蒲田知子、木村稔、玄地昭八、小泉伸夫、須貝基康、仁科淳、弘實さと子、古川克彌、松村定雄、水上香苗、村田富美子、保田行弘、湯瀬一栄)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、村松和行)

観察記録 - 5月に観察した生き物リスト-

【鳥類】

カイツブリ科：カイツブリ/ウ科：カワウ/サギ科：ダイサギ/カモ科：カルガモ、コガモ、マガモ/タカ科：オオタカ/キジ科：キジ/クイナ科：バン、オオバン/チドリ科：コチドリ/ハト科：キジバト/キツツキ科：コゲラ/ヒバリ科：ヒバリ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：オオヨシキリ、セッカ/モズ科：モズ/シジュウカラ科：シジュウカラ/メジロ科：メジロ/ホオジロ科：ホオジロ/アトリ科：カワラヒワ/ハタオリドリ科：スズメ/ムクドリ科：ムクドリ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/外来種や家禽：コブハクチョウ、アヒル

【ハ虫類】ニホンカナヘビ、アオダイショウ 【両生類】ニホンアマガエル、トウキョウダルマガエル、ウシガエル、アズマヒキガエル(幼体)

【昆虫・クモ】

チョウの仲間：アゲハ、キアゲハ、アオスジアゲハ、クロアゲハ、ナガサキアゲハ、ルリシジミ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、モンシロチョウ、キチョウ、ツマキチョウ、コチャバネセセリ、ギンイチモンジセセリ、アカタテハ(幼虫)/カメムシの仲間：マルカメムシ、ヨコヅナサシガメ/甲虫の仲間：ナナホシテントウ、ナミテントウ、ダンダラテントウ、ヒメカメノコテントウ、クロウリハムシ、コガタルリハムシ、オオヒラタシデムシ、/ハチの仲間：ニホンミツバチ、セイヨウミツバチ、クマバチ、キアシナガバチ、コマルハナバチ、コハナバチ/アリの仲間：トビイロケアリ、クロヤマアリ/アブの仲間：ナミホシヒラタアブ/バッタの仲間：ヒシバッタ/クモの仲間：ナカムラオニグモ

【花】

キク科：セイヨウタンポポ、ハキダメギク、ノボロギク、オオジシバリ、ノゲシ、ハハコグサ、チチコクサモドキ、オニノゲシ、ハルジオン、ブタナ、オニタビラコ、アメリカオニアザミ/シソ科：ホトケノザ、ヒメオドリコソウ/ゴマノハグサ科：オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、トキワハゼ、ムラサキサギゴケ、カワチシャ/アブラナ科：タネツケバナ、イヌガラシ/ナデシコ科：オランダミミナグサ、コハコベ、ウシハコベ、ノミノツツリ、ツメクサ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ、コマツヨイグサ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/マメ科：シロツメクサ、ノダフジ(植栽)、ニセアカシア(植栽)/カタバミ科：アカカタバミ、オッタチカタバミ、カタバミ、イモカタバミ、ムラサキカタバミ(植栽)/イネ科：ヒエガエリ、スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、チガヤ、イヌムギ/バラ科：ヘビイチゴ、オヘビイチゴ、ノイバラ/フウロソウ科：アメリカフウロ/アカネ科：ヤエムグラ/ツユクサ科：トキワツユクサ/オオバコ科：オオバコ/セリ科：ヤブジラミ/ケシ科：ナガミヒナゲシ/アヤメ科：ニワゼキショウ、オオニワゼキショウ、キショウブ/ムラサキ科：キュウリグサ、ハナイバナ/サトイモ科：ウラシマソウ、カラスビシャク/オオバコ科：ヘラオオバコ/ツツジ科：オオムラサキツツジ(植栽)/ラン科：エビネ(植栽)

5月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「鳥のさえずりと子育て」でした。斜面林でメジロやカワラヒワ、シジュウカラ、手賀沼沿いでオオヨシキリやカイツブリなどのさえずりが聞かれました。先月も観察した遊歩道沿いのハシボソガラスの巣では、親鳥と同じくらい大きくなった巣立ち直前のヒナが3羽、ぎゅうぎゅうになって巣に収まっていた。



今月の案内人 木村 稔さん



①

「ケーン、ケーン」と鳴いて羽をほろ打ちしていたキジメ



②

「くっつき虫」のヤブジラミの花



③

香取神社にあったツメクサはハコベと同じ仲間



④

香取神社にあった植栽されたエビネがきれいでした



⑤

みんなでアズマヒキガエルのオタマジャクシを観察



蜜を吸うキアゲハ

この季節に満開になるオオムラサキツツジには様々な昆虫が蜜を求めてやってきます。キアゲハ以外にもアブやハエの仲間も多く見られました。

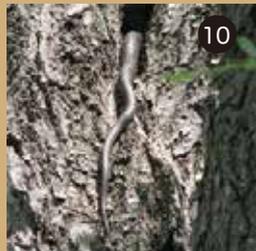


5月の観察生物とルート



蜜を吸うクマバチ

ニセアカシアの蜜を吸うクマバチ。ハチの中には頭を花の中に入れて、花の外側に穴を開けて蜜だけを吸う「盗蜜」をするものもいます。



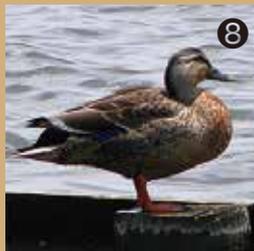
⑩

ニセアカシアの樹洞にいた大きなアオダイショウ



⑨

巣立ち直前のハシボソガラスヒナは嘴の根元が薄いピンク色をしています



⑧

胸や尾羽にマガモの特徴が出ているマルガモ（マガモとカルガモの雑種）



⑦

ヨシ原の中から「クルッ、クルッ」と鳴きながらオオバンが出てきました



⑥

オオムラサキツツジに網を張っていたナカムラオニグモ

ハシボソガラスの分布

今回のてがたんでハシボソガラスの子育てや水田での餌探しを観察しました。ハシボソガラスの英名は Carrion Crow（死肉を食べるカラス）ですが、実際は植物質の餌を好むカラスです。市街地でよく見られるハシボソガラスに対し、畑や水田で餌を探すことも多いため、「田舎のカラス」と表現されることもあります。てがたんコースではどちらも同じくらい観察されています。

ハシボソガラスはユーラシアからアフリカにかけて広く分布し、ハシボソガラスはユーラシア大陸東南部に分布しています。ハシボソガラスは英名で Jungle Crow（森のカラス）と呼ばれ、元来、森林に生息しているカラスです。



餌を探すハシボソガラス



ハシボソガラスの分布図

分布図の色

留鳥

夏鳥

冬鳥

地図引用：財団法人日本鳥類保護連盟「鳥630図鑑」

てがたんにご参加ありがとうございました。次回の参加もお待ちしております！